



くろぎのシナリオ大賞

大賞作品



未来のくうき、
いかがですか？

兼重 日奈子

人物

橘^{たちばな} 夏梨^{かりん}（18）女子高生

橘 夏梨（10）小学生

橘 浩二（50）夏梨の父

橘 浩二（42）会社員

橘 有希（38）夏梨の母（写真のみ）

吉田 紀子（45）パート従業員

早川 萌（18）夏梨の同級生

宮内 壮太（18）夏梨の同級生

客

カップルの男

カップルの女

教師

生徒

タクシー運転手

郵便配達員

○橘家・マンション・リビング（朝）

手を合わせる橘夏梨（10）。夏梨の
前に橘有希（38）の遺影。スーツ姿
の橘浩二（42）、夏梨の背中を見つ
めている。夏梨、振り返る。

橘「……あのな、お父ちゃんな、会社辞める
ことにした」

夏梨「え?!」

橘「もっと、夏梨と一緒に出来る仕事にしよう
思てん。どうや?」

夏梨、満面の笑顔で頷く。

○たこ焼き たちばな・外観（夕）

二階のベランダに『たちばな』のロゴ
が入った、赤いエプロンが干してある。
一階に『たこ焼き たちばな』のテン
ト看板。大きなガラス越しに、たこ焼
きを焼く橘の姿。ランドセルを背負っ
た夏梨、走ってくる。

夏梨「お父ちゃん、ただいまー!」

○同・店内（夕）

裏口ドアが開き、夏梨が飛び込んでくる。

夏梨「あつつう！」

橘「おかえりー！。アイス買うてあるで」

橘、人差し指で上を指す。夏梨、棚に置いてあるうちわを手取る。うちわにクレヨンで描かれた、橘の似顔絵。

夏梨「お父ちゃん、赤鬼みたいや」

夏梨、うちわで橘の顔に風を送る。首に巻いたタオルで汗をぬぐい、笑う橘。

○たこ焼き たちばな・外観（夕）

店の前に客の行列。制服姿の橘夏梨

（18）、店の前を通り過ぎる。夏梨の耳にイヤホン。橘浩二（50）、たこ焼きを焼きながら、夏梨を目で追う。

○同・店内（夕）

裏口ドアが開く。無表情の夏梨が入っ

てくる。

橘「おかえりー」

無言で階段を駆け上がる夏梨。吉田紀子（45）が、客にたこ焼きを渡す。

紀子「熱いから気をつけてな。おおきに！」

壁のクーラーから、鈍いモーター音。

○橘家・夏梨の部屋・内（夜）

本棚にコミックが並んでいる。

夏梨「あっつう！」

クーラーのリモコンをつける。ベッドに倒れこむ夏梨。勉強机に『アニメができるまで』の本。

○たこ焼き たちばな・外観

せみの鳴き声。日傘をさした人が、店の前を行き交う。

○同・店内

マスクをしながら、たこ焼きを焼く橘。

汗をぬぐう。壁の温度計、44℃を指している。クーラーの鈍いモーター音。うつろな目の橘。客が来る。

客「すみませーん。いつもの。マヨ多めで」

橘「……」

橘、倒れる。

客、慌てて、橘に声をかける。

○大阪救急病院・処置室・内（夕）

点滴がゆっくりと落ちている。ベッドに横たわる橘。眠っている。ベット脇のパイプ椅子に座る紀子。制服姿の夏梨、駆け込んでくる。

紀子「ああ、夏梨ちゃん。やっと来た」

夏梨「すみません……。ご迷惑おかけして」

紀子「熱中症やて。今日、めっちゃめっちゃ暑かったやろ。念のため、入院て」

夏梨「熱中症……」

紀子「お店、昼間は、50℃近くなるから。

今のクーラー、ちっとも効かんし」

夏梨「！！そうだったんですか……。すみません、パートさんらにも、暑い思いさして」
紀子「ちゃうちゃう。うちらパートはな、夏は午前中か、夜だけのシフトになってんの。一番暑い時間帯は、店長一人でまわしてるから」

夏梨「一人？！アホちゃう？なに無理してん。クーラーも、新しいの買うたらええのに！」

紀子、夏梨の顔を見つめ、

紀子「夏梨ちゃん……。そんな言い方、したらあかんわ」

夏梨「……」

紀子「店長、血圧高いやろ？よけい、熱中症になりやすい、って先生、言うてた。」

キンキンに冷えるクーラー入れるまで、営業したらあかん、て。……ただな……」

夏梨「……？」

椅子から立ち上がる紀子。

紀子「……一個、70円」

夏梨「え？」

紀子「たこ焼き、一個70円や。材料費、引いて、うちの給料、店の家賃やろ……？
クーラー買い替えるのに、どんだけ、たこ焼き焼いたらええんやろ、て」

夏梨「……」

紀子「ああ、ごめんごめん、夏梨ちゃんに言うてもしやあないわな。ほな、お大事にな」
部屋を出ていく紀子。橘の寝顔を見つめる夏梨。

○橘家・居間（夜）

夏梨、テーブルに、コンビニの袋を乗せる。スマホの着信音。『赤鬼』の表示。

橘の声「あ、夏梨か。すまん、しばらく入院になつてもうた。当分、帰れん。すまん」
スマホを置く夏梨。天井を見上げる。

○たこ焼き たちばな・店前（朝）

シャッターに『店主、入院のため、当

分の間、休ませて頂きます』の張り紙を貼る、制服姿の夏梨。

○たちばなの近くの歩道（夜）

夏梨、紙袋をぶら下げ、肩を落として歩いている。顔を上げる。視線の先に、たちばな。店の前に立つ若いカップル。

○たこ焼き たちばな・店前（夜）

シャッターの張り紙を見る、カップル。

男「うっそ！『入院』ってなんなん？！」

女「えー、マジへこむー！」

引き返すカップル。女、駆け足で戻ってくる。周りを見回しながら、張り紙にペンで書き込みをする。走って去る。夏梨、眉間に皺を寄せ、張り紙に近づく。『お大事に！営業再開、待ってるで！』の文字。

夏梨「……………！」

文字を、ゆっくりと指でなぞる。

○橘家・夏梨の部屋（夜）

勉強机に座る夏梨。スマホに『業務用
エアコン』と入力。画面を見てため息。
勉強机の引出から『アニメ専門学校
入学案内』のパンフレットを取り出す。
両手で持ち、眺める。ゴミ箱に捨てる。

○大阪救急病院・病室（夜）

橘、ベットの上で、スマホを開き、
『アニメ専門学校 入学金』と入力。
画面を見てため息。『業務用 空気清
浄機つきエアコン』と入力。価格が表
示されている。下唇を突き出す橘。

○大阪中央東高校・教室・外

「3年3組」の室名札。チャイムの音。

○同・教室・内

授業中。真剣な表情で机に向かう夏梨。
漫画のイラストを描いている。教師が

近づき、用紙を取り上げる。

夏梨「！！あっ！」

夏梨、手を伸ばし、用紙を取り戻そうとする。バラバラと紙が落ちる。

教師が一枚拾い上げる。紙に『アニメ原作漫画コンテスト』『賞金50万円』の文字。教師、呆れた顔。生徒たちがクスクス笑いだす。顔が赤くなる夏梨。

夏梨「も、やだーっ！」

机に突っ伏し、大声で泣く。

○同・校門・外

夏梨が早足で、門から出てくる。後ろから、早川萌（18）と、宮内壮太（18）が走って追いかけてくる。

萌「待たれよーっ、橘氏ーっ！」

宮内「氏ーっ！」

振り返る夏梨。萌、夏梨を指さし、

萌「ぬし。さては水臭い抱え込み女、やな？」

宮内「ですね」

夏梨、唇を尖らせ、上を向く。顔を両手で覆う。

○たこ焼き たちばな 近くの歩道（夕）

宮内、夏梨、萌、縦に並んで歩く。

萌「どっかに、クーラー落ちてへんかなあ」

夏梨「それ、不法投棄」

宮内が立ち止まり、

宮内「あれは……なんですか？」

宮内が指さす方向に、たちばな。シャッターに紙がたくさん貼ってある。

○同・店前（夕）

シャッターの前で立ち尽くす3人。

萌「……たちばな。めっちゃ愛されてんな」

夏梨「……」

宮内「こ、これは……。落ちてるクーラーと

か、探してる場合じゃありません！」

宮内、親指を立て、ニツと笑う。

○同・店内（夜）

照明がつく。壁のクーラーから鈍い音。

『たちばな』の赤いエプロンをつけた

夏梨。緊張した表情。スマホカメラを

夏梨に向ける宮内。隣に萌。

萌「橘氏の思い、お客さんに伝えるで！」

宮内「はい、いきます。3、2……」

夏梨「……あかん！うまいことしゃべれん！」

夏梨、額の汗をぬぐい、クーラーの前に立つ。手をかざす。

夏梨「ぬるう……」

天井を見上げる夏梨。備品棚から竹の柄が飛び出ている。柄を引っ張る夏梨。ボロボロになった、橘の似顔絵うちわ。

夏梨「……いつまで、もっとんねん……」

うちわを扇ぐ。ゆっくりと目を閉じる。

夏梨の髪が、風で揺れる。深呼吸。

夏梨「……橘、いけます！」

夏梨M「私の願いは、お父ちゃんに、涼しくて、気持ちの良い風を贈ることです。お父

ちゃんが、これからずっと、笑って、健康で、たこ焼きを焼いていけるように。お父ちゃんの焼いたたこ焼きで、たくさんのお客さんが、笑顔になれるように。そのために『未来のたこ焼き券』をつくります！」

○たこ焼き たちばな 店前（夕）

『たちばな』の赤いエプロンをつけた

夏梨、萌、宮内がチラシを配っている。

チラシにアニメ風の橘の似顔絵。

夏梨「たこ焼きたちばな、営業再開のための

『未来のたこ焼き券』販売してまーす！」

萌「営業再開後、たこ焼きの食券になりま

す！『未来のたこ焼き』いかがですかー！」

紀子が笑顔で走ってくる。

紀子「チラシ、まだある？！友達に配ったら、

無うなっけしもた！」

夏梨「吉田さん、ありがとうございます！」

宮内が、チケットを客に渡している。

宮内「お買い上げ、ありがとうございます。」

営業再開のお知らせは、SNSでアップしていきますね」

店の前に人が集まってくる。

○タクシー・車内

後部座席に、もたれかかっている橘。

脇に、ボストンバッグと紙袋。

運転手「なんや、あの店？」

身を乗り出す橘。目を見開く。

○たこやき たちばな 店前

タクシーから降りる橘。シャッターが、無数の張り紙で覆いつくされている。

『はよ、元気になって下さい！』『た

ちばなのたこ焼き、日本一！』『店長

の笑顔に会えなくて寂しいよお』等、

手書きの応援の言葉。立ち尽くす橘。

店脇の通路から、赤いエプロンをつけ

た夏梨が出てくる。橘を見る。

号泣している。吹き出す夏梨。

○たこ焼き たちばな 店前（朝）

工事用トラックが止まっている。作業員が業務用大型エアコンを運んでいる。

○同・店内

取り付けられたクーラーの下に、夏梨、萌、紀子が並んで立つ。

橘「……いくで」

電源を入れる橘。両手を広げ、風を浴びる4人。深呼吸する夏梨。宮内が、スマホカメラでシャッターを切る。

○歩道

カップル、歩いている。SNSの通知音。女、立ち止まり、スマホを開く。

『お待たせしました！たちばな 営業再開します！』の文字。クーラーを指さし、ポーズをとる橘と夏梨の画像。

女、満面の笑顔で、画面を男に見せる。

○たこ焼き たちばな 店内

橘とパート従業員、笑顔でたこ焼きを焼いている。紀子、笑顔でチケットを客から受け取る。

客「橘ちゃん、元気になってよかったなあ」
橘「ほんま、おおきに！皆さんのお陰や！」
橘、笑顔。橘が見上げた先にクーラー。

○同・店前

行列ができている。行列客の注文をとるエプロン姿の夏梨。

郵便バイクが止まる。夏梨を見つけ

郵便配達員「橘さん？ですか？郵便ですー」
夏梨「あ、はい！もらいまーす」

大判の封筒を受け取る。封筒に「アニメ専門学校 入学案内」の文字。ハッと顔を上げる夏梨。視線の先に、たこ焼きを焼く橘。封筒を抱きしめ、90度に頭を下げる。顔を上げ、空を見上げる。大きな入道雲。

（完）